

9 SEP. 企業と広告

アドテク不信で取るべき対応策

領域拡大するPR/TV新指標の動向

インタ... L I X I L / <エリア特集>北海道

今日を愛する。
LION

ノニオすれば、
口臭気にならないノニオ!

新登場!
口臭科学から生まれた
ノニオ。

NONIO

口臭科学から生まれた
NONIO
歯磨きペースト
CLEAR HERB MINT
歯を白くする
LION

口臭科学から生まれた
NONIO
薬用マウスウォッシュ(洗口液)
CLEAR HERB MINT
歯を白くする
LION

薬用ハミガキ
薬用マウスウォッシュ(洗口液)

講座

Web 広告

村山 哲治

なぜいま Web サイトは WordPress で作られているのか

■コンテンツマーケティングの広がり求められるツールに

サイトからの営業効果を上げていくための手段のひとつとして、「デジタルマーケティング」が多くの企業で実施されています。このコーナーでもこれまで何度となく取り上げてきたテーマですが、私はそうした取り組みの中で最も重要なポイントは「コンテンツマーケティング」にあると感じています。

コンテンツは、練って練って精査した情報であっても、サイトに公開しっぱなしではあまり意味がありません。更新を繰り返してこそ、コンテンツが有益なものとなるわけですが、そうした運用を迅速に行うためには、そのコンテンツを管理するためのCMS (Contents Management System) が必要となってきます。CMSがまだ一般的でなかった頃は、ちょっとした文言の修正もいちいち制作業者に依頼しなければならなかった

が、CMSによって社内のスタッフがhtmlなどの専門知識がなくてもその管理画面で、一般のオフィスツールを使う感覚でコンテンツが管理できるようになりました。

そうしたデジタルマーケティングやコンテンツマーケティングがサイト運営において必須となってきた背景を受け、WebサイトをCMSシステムである「WordPress」で構築するケースが非常に多くなっています。

しかしながらそのWordPressは、サイトリニューアルや新規にサイトを作るツールとしてよく検討されている割には、Web運営に携わる方にその実態が知られていないようです。

そこで、なぜこれほどまでにWordPressが利用されるようになったのか、その特徴やメリットはどのようなものなのか、デメリットはないのかを考察してみたいと思います。

■CMSツールとしては圧倒的シェア

WordPressがオープンソースのブログ作成システムとして登場したのは2003年ですから、登場以来かれこれ15年近く経つわけですが、その2年前の2001年にはMovable Typeというブログツールが既にあり、しばらくはこちらの方がポピュラーでした。両者の詳細な比較は割愛しますが、大まかな違いは下表のように有償か無償かという点と、それに伴う公式のサポートがあるか、また機能の拡張性(プラグイン)があるかといった点です。

	WordPress	Movable Type
開発言語	PHP	Perl
データベース	MySQL	MySQL・SQLite
コンテンツの生成	動的生成のみ	静的生成(動的生成も可)
ライセンス	無償(商用利用も可)	個人利用以外は有償ライセンス
再構築	無	有
プラグイン	多数	少数
サポート	基本サポートなし	公式サポート(有償)

現在の両者の状況とはいえば、圧倒的にWordPressが浸透しており、大手企業や地方自治体のWebサイトにも採用されるに至っています。国内でのシェアも80%を超え、全世界でもそのシェアは約60% (参照: W3 Techs2017年7月) にも及ぶほどです。

Movable Typeはこれまで多くのサイトで採用されていたにもかかわらず、利用者が減

ってしまった原因は何かといえ、有料であるという点もあるでしょうが、私はプラグインによる拡張性の差によるものだと思います。WordPressはオープンソースであり、全世界のエンジニアによって日々アップデートされ、現在では5万弱ものプラグインがあるといわれています。サイトを構築する際に実現したい仕様は、それによってほぼ可能になるといっても過言ではないでしょう。

それに対してMovable Typeは限定された開発環境で作っているため、その数の差は圧倒的に少なく、徐々にシェアを落としていったと考えられます。

■WordPressのメリットとデメリット、運用の注意点

では、WordPressには、プラグインの多さも含めどのようなメリットがあるのでしょうか。

1. プラグインが豊富

先ほども述べたようにプラグインが非常に豊富です。プラグインによってECサイトを構築したり、セキュリティ対策ができたり、SNSと連携させたりと非常に豊富なプラグインで、想定するサイトの機能を容易に付加させることが出来ます。

しかし、プラグイン同士の相性で動作が不安定になったり表示が重くなったりすることもあるため、利用実績のあるものを選定するなど、注意も必要です。

2. サイト構築や管理が容易

サイト制作の専門知識がなくても、ブログ感覚でページ作成や更新を行う事ができますが、多少専門知識があれば「テキストモード」でhtmlやCSSを使用しながらレイアウトやデザインを調整することもできます。

複数の運用者が行うような場合でも、管理権限のステータスを分けることができるため、管理がしやすいといえるでしょう。

3. デザインテンプレートが豊富

素の状態のWordPressは非常にシンプルで、デザインが施されていません。ネットにはWordPress用のテンプレートが、無償のものから有償のものまで数多くあり、それらを適用させることで見栄えの良いデザインが容易に構築できます。

4. 構造がSEOに有利

他のCMSと比較してもSEOに最適化された構造を持っているほか、SEO強化プラグインもあります。GoogleからもSEOに適していると評価されたことは、その証でもあると思います。

5. 構築や管理の情報量

何とんでも世界中に利用者がいるため、情報が豊富です。プラグインによるカスタマイズやセキュリティー情報など、分からない時や困ったときに検索するだけでそれらの情報が入手できます。

このようにメリットの多いWordPressですが、デメリットもありますのでその点もしっかり理解しておくことが必要だと思います。

1. 表示速度の問題

もともとWordPressはデータベースより動的にページ生成するシステムです。そのため静的ページより表示が遅くなる傾向があります。

2. セキュリティーの問題

オープンソースであることから、ハッカーから攻撃を受けやすいという側面もあります。プラグインやデザインテンプレートの中には意図的なバグが仕込まれている場合もあります。そうしたことがあることを理解したうえでの運用が必要です。

3. 費用の問題

簡単、無料といった耳あたりの良いことばかりではなく、外部業者の力を借りるとなると、初期の構築(インストール・サーバー設置)、表示スピードを維持するためのサーバー環境、WordPressやプラグインのバージョンアップの更新作業と動作検証といったコストがかかります。

いずれにしても、CMSとしては非常に有効なツールであることは間違いありません。WordPressを利用する上で重要なのはこうした特徴を理解し、適切な情報収集やシステムのバージョンアップなどのメンテナンスを欠かさないことにより、デメリットの克服にもつながります。

(東京ドアーズ/人間力教育センター代表)